

先月号を読んでくださった方にお会いすることに「カイコどうしました？」ときかれます。その後をご報告させていただきますと、我が家のカイコたちは、6月12日の真夜中過ぎ、高校生の息子が定期試験の勉強をしていた最中に2頭とも糸を吐き始め、私が覗いた翌朝にはすっかり繭になってしまっていました。

とんがり帽子の指人形

麻やデニムのしっかりした生地を裁って、折って、ステッチをしてちょいちょいと縫って表に返すと、とんがり帽子と体が一度に出来上がります。

指を入れてお話ごっこをしたり、平たいままアップリケにしたり、ひもをつけてオーナメントにしたりと、すてきな使い方がいろいろ思い浮かびます。

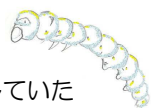
もうすぐやってくる夏休み、お子さんといっしょの手仕事にもぴったりです！

(身長約10cmの指人形5体分：1,575円、作り方テキスト入り)



作品展のお知らせ

7月14日(土)～16日(月) ぱふ草津店 TEL: 077-569-3003
滋賀県草津市野路1-3 アメニティ南草津102 担当: 中野久仁子



ばたぼん通信

9歳の危機！とシュタイナー教室

ばたぼんを休業して、4月から小学3年生の担任をしています。昨年は、家庭科専科だったので、得意分野でしたが・・・この3年生がなかなか手強いのです。ギャングエイジとはよく言ったものです。5年生くらいになると、ぐっと落ち着くのですが。

シュタイナー教育では、3・4年生の9歳前後の時期を9歳の危機と言っていますが、確かに大人っぽい眼差しになってきて、顔つきが変わってきます。自分中心だった世界が、世界の中のたった一人の自分に気づいて、動揺して、反抗的になったりしています。でも、この子達が誕生の門を通過して、今、私の前に立っているとと思う時、子どもを見る目が違ってきます。愛しく、一人一人の未来に思いをはせます。



シュタイナーとの出会いの中で、私には現在、師と仰ぐ人が三人います。「七歳までは夢の中」を書いた松井るり子さん、ウォルドルフ人形の佐々木奈々子さん、シュタイナー教育・らせん教室の井手芳弘さん。この出会いにより生き方が変わりました。37歳からのスタートでしたが、それが適齢期だったのでしょ

うね。

我が家の3人兄弟の末っ子の中1の次女は、4年生から井手先生のシュタイナー教室に通っています。運動大好きな活動的な子が土曜日のこの時だけは、スーッと内省している気がします。内面を見つめ表情も違ってきます。作品にも、その姿勢が現れているように感じます。この教室では、昨年は、家造りの授業の一環で小さな煉瓦を作り、家を組み立てました。今年は、実際に家造りが始まっています。この現場に、クラスの子ども達を連れていけたらなあと、本当にうらやましく思います。そろそろ成績つけの時期、一番悩み苦しむ時です。



及川 雅子(福岡市在住)

ひつじ よーもーやまばなし

—その6—

「シルクの話」

カイコの作る繭から糸を繰り出したまゆ糸を1本に束ねて生糸を作ります。そのままの生糸では少しざらざらしたかたい糸です。接着剤役のセリシンを取り除いてフィブロイン(カイコの吐き出した1本の直径が0.02ミリより細い繊維)だけの束にしたものが「シルク」です。

このごくごく細いフィブロインは、それぞれの断面がほぼ三角形をしており、シルクに光があたるとき、そのそれぞれの三角形がプリズム効果をもたらします。この複雑な反射から美しいシルクの光沢が生まれるのです。

また、シルクは染め上がりの鮮やかさも魅力のひとつです。お話したとても細いフィブロイン繊維は、さらに細いマイクロフィブリルというまたまた極細の繊維の束だそうです。その1本1本のごくわずかな隙間に染料がしみ込み、キレイに染め上げることができます。

このわずかながらたくさんの隙間は、シルクを軽くて保温性の高いものにもしています。とても高価ですが、肌掛け布団などにも使われています。保温性だけでなく、吸水性、放湿性も兼ね備えたシルクのお布団なら、ジメジメしたこの梅雨時も快適に過ごせるかもしれませんね。

その他にも、紫外線を吸収する、皮膚細胞を守る、ニオイを吸着する、燃えにくく有害ガスが発生しない、などなどとても優秀な天然繊維です。そして、日本が世界に誇る「美しいシルク」なのです。

ひつじおじさん 日比野祐三

新刊「ウォルドルフの手仕事、心を育む人形たち」発行のお知らせ

スウェーデンひつじの詩舎は、ウォルドルフ教育の環境から生まれたウォルドルフ人形とスウェーデンでの楽しかった羊毛の手仕事体験を伝えたい思いから、1986年「ウォルドルフ人形の本」発行の年に、スタートしました。その後、本の形では「ウォルドルフ人形と小さな仲間達」「ウォルドルフの動物たち」と続き、今回「ウォルドルフの手仕事、心を育む人形たち」が発刊の運びとなりました。文化出版局より8月頃発売の予定です。

今回は通信講座「ベレの学校」の過去3回の内容から、人形を主にとりあげています。既に皆さんにおなじみの『星の子』や『とんがり帽子の指人形』なども含まれています。

大人から子へ、安心して手渡せる人形として、子どもさんの分身として、手遊びや季節のテーブルの人形に、折々の機会に開いて、手作りを楽しんでいただけるように心をこめて作りました。

次号の「ひつじの詩だより」で発行日をお知らせできることと思います。ぜひお手にとってご覧いただけますように！！

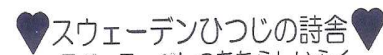
スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

8月12日(日)から16日(木)まで夏休みをいただきます。どうぞよろしくお願いたします。

編集担当: 佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>



スウェーデンひつじの詩舎
スペース ベレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
TEL/FAX 045-881-6300,6365
佐々木のアドリエ TEL/FAX 045-811-6708
相談窓口: 金 担当: 寺田裕子045-881-7035